

# Youth Post

ユースポスト

日本青年団新聞

2021 Vol. 3

106巻第3号 発行 2021年5月1日

編集・発行 日本青年団協議会

〒160-0013  
東京都新宿区霞ヶ丘町 4-1 日本青年館 5 階  
TEL : 03-6452-9025 / FAX : 03-6452-9026  
seinen@dan.or.jp / <https://www.dan.or.jp>



2020年8月のワークショップ。青年団員皆川さんのお店（金田屋魚店）も訪問。



2020年8月のワークショップでは、アイスブレイクで「おもしろ村」に取組み、高校生も青年団も盛り上がる



2019年10月に開催されたさくらら祭。高畠町の青年たちと南陽市の中学生ボランティアが綿菓子ブースを担当



2020年11月のBBQ。3密を避け、青空の下で乾杯



2020年11月、南陽市内でテイクアウト可能な店を紹介するサイトのチラシを配布。休憩しながら活動について打合せ

## CONTENTS

### 2-3 Action

南陽青年団、ついに発足（山形県南陽市）  
十人十色の獅子舞（富山県南砺市）  
繋いだ第69回県青大（鹿児島県鹿児島市）

### 4-5 地域をつくり、仲間がつどう

### 6 リーダーと語る（伊緒里優子氏）

### 7 語り、学び、つながる

「Youth Post・ユースポスト」とは、青年の活動や想いが全国に届くことを願って、Youth・ユース（青年）とPost・ポスト（郵便物）を組み合わせたものです。本紙は、青年や青年団が全国でいきいきと活躍する姿を伝える日本青年団協議会の機関紙・広報紙です。

# 南陽青年団、ついに発足

## 「楽しさは自分たちが見つける」(山形県南陽市)

北に丘陵、南に沃野、

開湯900年余の伝統あ

る赤湯温泉や宮内熊野大

社など、伝統と歴史をも

つ南陽市。市内にあるシ

ェルターなようホール

(南陽市文化会館)で3

月7日に南陽青年団(以

下、青年団)が発足し

た。発足式にはホールに

来賓2名と団員11名、オ

ンラインで立会人20名と

団員8名の計41名が集

い、成功裏に終わった。



白岩孝夫南陽市長の挨拶。団員たちがオンライン配信

青年世代だとリスク

(4〜5頁参照)。

て青年団に入団した

り上げる取組を通じ

で出会い、地域を盛

年団の板垣航団長

(30)と同じチーム

也さん(18)は、青

して参加した皿谷倅

った。当時高校生と

の企画書作成を手伝

アを基にまちづくり

を訪問して話を聞

き、高校生のアイデ

アを基にまちづくり

の企画書作成を手伝

アを基にまちづくり

の企画書作成を手伝

の企画書作成を手伝

の企画書作成を手伝

の企画書作成を手伝

の企画書作成を手伝

の企画書作成を手伝

の企画書作成を手伝

の企画書作成を手伝

の企画書作成を手伝

の企画書作成を手伝

の企画書作成を手伝

の企画書作成を手伝

の企画書作成を手伝

の企画書作成を手伝

の企画書作成を手伝

の企画書作成を手伝



山形県南陽市

を考えて発想が保守的に

なりがちだが、高校生か

らは、大人が思いつかな

い面白いアイデアが次々

と出てくる。逆に、青年

団からは、高校生にはな

い知識や経験から出る発

言もあり、勉強になった

という声もある。高校生

と青年団が関わることで

お互いにとって新たな気

づきがあった。

団員は男性17名と女性

7名の計24名、高校3年

生から30代後半のメンバ

ーが集まり活動してい

る。今年度の活動計画の

1つにある「まくら祭

は、市主催で100年以

上続く菊まつりのコラボ

企画として青年が中心に

開催しており、高校の文

化祭のような事業だ。こ

の祭を盛り上げようと隣

町の高畠町や長井市、栃

木県日光市や福島県北塩

原村からも青年たちが集

まる。都会に比べて地方

は人手不足で継承できな

い伝統や文化もあるが、

人のつながりは強く、自

分が動いた分だけ町は変

わる。「自分たちが地域を

つくる」という当事者意

識が芽生え、楽しさは大

きくなる。「青年団には、

南陽市を盛り上げること

だけでなく、県外から戻

るリターン者の受け皿で

あることも求められている

。青年団と高校生・市

民だけでなく、他地域と

のつながりを大切にして

いきたい」と板垣団長は

意気込む。

設立式にも参加した山

形県連合青年団の小関新

太郎団長は「今後の活動

が楽しみ。『青年団』と

いう名前に縛られず、面

白いことをどんどんやっ

てほしい」と青年団に想

いを寄せている。

■南陽市教育委員会社会教育課 0238-40-8992 (取材) 宮城県青年団連絡協議会 伊藤 義幸 支局長



2021年8月のワークショップ。30人近くの南陽高校生が参加し、青年団との交流を楽しみながらまちづくりについて学ぶ



2019年10月に開催されたまくら祭。市民の方々が集まり各ブースに大行列ができる

# 十人十色の獅子舞

くおらちらしくやろまいく

(富山県南砺市)

上平青年団は、世界遺産の合掌造りが並ぶ五箇山を拠点に活動している。

産の合掌造りが並ぶ五箇山を拠点に活動している。団員の多くは南砺市内の各地で働いているため、同市防災アプリで流れる天候・災害による交通情報を青年団内で共有後、職場や近所に知らせ、被害拡大防止に努めるな

ど日頃から地域を支える。1月末に開催されたスキー大会では、子どもたちの笑顔を絶やさぬよう、無病息災の祈りを込めた獅子舞を行った。上平青年団は16集落の青年が集い、50人ほどの団員がいる。1つの青年団として舞った



草鞋で雪上を舞う獅子舞が参観者を魅了する

が、音色や舞には各集落の特徴があった。感染対策のため、練習も上手く行えず焦りが募ったが「おらちらしくやろまい(私たちが)と無理にやり方を統一せず、当日を迎えた。本番は観光客や地元の方々から激励と浄財をいただくほど好評に終わり、自分たちの魅力が地域に伝わった日となった。いただいたご祝儀は、感染拡大防止策の一助になればと思い、田中幹夫南砺市長に寄付金として手渡した。「自分が大好きなこの地域を、子どもたちにも残しつづけたい」と団員の森井勇真さん(30)は微笑みながら語る。出身が異なってもお互いを信じ合い地域に根差す青年団。今後自分たちらしさを忘れない。



上平地域づくり協議会内 ☎0763-67-3650

# 繋いだ第69回県青大

く思いを繋ぐためにく

(鹿児島県青年団協議会)

鹿児島県青年団協議会は発足70周年記念大会となる第69回鹿児島県青年大会(以下、県青大)を昨年10月に開催した。長きに渡る伝統を紡いできた県青大は今年、波乱の幕開けとなった。

コロナ禍で運営委員もなかなか集まらず、参加者を募集しても、世間の逆風を受け参加できないと断られることが多かった。それでも、今年度の県団スローガンである

「思いを繋ぎ、地域と繋がる青年団」を掲げる今年の県団にとって実施することに迷いはなかった。市町村団や諸先輩方と密にやり取りし、準備を進めた。大会競技であるボウリング会場は繁華街にあるため、実際に試合を役員で楽しみながら、感染対策を考え試行

錯誤を重ねた。コロナだけでなく台風で延期を余儀なくされたが、なんとか開催することができた。特別公演として離島種子島の子どもたちに夢をつないで20年、離島閃隊タネガシマン(TAC

(中種子町)連合青年団(OB)も海を越えて駆けつけ、会場を盛り上げた。「青年団は地域を明るくできる組織という自信と誇りを持ち、今後も活動を楽しくもうと、全国の仲間と呼びかけていき

海を越え、離島閃隊タネガシマン来る



海を越え、離島閃隊タネガシマン来る

鹿児島県青年団協議会 ☎099-218-1235 ☎099-218-1245



ユースポスト106巻第2号に、下記の誤りがございました。謹んでお詫び申し上げます。ここに訂正いたします。  
表紙 2段目右の写真  
誤) 2014年2月、宮城県大船渡市「災害は忘れた頃にやってくる」。  
正) 2014年2月、岩手県大船渡市「災害は忘れた頃にやってくる」。

# 地域をつくり、仲間がつどろ



## な が ま ～後継者不足に終止符を～

いつの時代も組織に所属する人たちの頭を悩ませてきた後継者不足の問題。“少子高齢化の影響で若者の人口が減った” “情報化社会による娯楽の多様化で、青年団活動に興味を持つ人が減った” と考える青年たちは少なからずいる。しかし、全く勧誘や声掛けをしなくても入団希望者から自発的に「青年団に入るにはどうしたらいいか」と声が上がっている地域事例もある。それはなぜなのか―。本特集では、その事例を紹介するとともに、各地の団員たちの声から人を惹きつける活動の魅力や、仲間が増える理由について考える機会としたい。

### FOCUS

#### ◆南陽青年団（山形県南陽市）



【山形】2020年夏のワークショップ。みんなでアイデアを出し合う。

①なぜ入団を決めたのか  
元々地域活動に興味があり、南陽市に関わることをしたいと思っていたので、入団した。

②ターニングポイントは何か  
2020年夏の「置賜地区高校生まちづくりワークショップ」への参加。企画書を作る過程で街の人たちとつながっていくことが楽しかった。「まちづくりって楽しい」と思った。

③活動の魅力は何か  
まだ青年団で活動できていない。今までは「地域を元気にするにはイベント開催しかない」という考えだったけれど、イベントに限らず様々な方法があることを知った。いろんな人と関わる中で視野が広がっていくことが楽しい。

④青年団での今後の展望は何か  
青年団のみならず、国籍や障がいに関係なく楽しめる大きな事業をやりたい。コロナ禍で海外に行けないけれど、南陽市には外国の方が多いので、様々な国の料理や文化を知れるような、海外旅行に行った気分になれる事業を開催して、街を盛り上げたい。

#### 【プロフィール】

皿谷 倅也（さらや・ゆきや）（18）南陽市出身。3月に山形県立南陽高等学校を卒業。4月から神奈川県警察官として働く。ゆくゆくは山形県南陽市に戻りたいと思っている。

#### ◆泉佐野市青年団協議会（大阪府泉佐野市）

①なぜ入会を決めたのか  
各町内会に青年団が存在し、だんじり祭りを行っている。下瓦屋地区出身で子どもの時から祭りで活躍する青年団の姿に憧れ、大人になって入団するのが当たり前だった。

②ターニングポイントは何か  
青年団にはヤンチャな者も真面目な者もいる。中卒・高卒で働き始めた人や大学に進学した人等、様々な経験を積んできた人が集まるので、仲間と関わるうちに多面的な視野を得る。どの生き方が良い、悪いではなく、いろいろな価値観に触れたことで大人になって「人生」の考え方が変わった。

③活動の魅力はなにか  
近所の幼なじみと一緒に何かできること。地元から都会に出る人が多いが、盆踊りや秋祭りの時には帰ってきて一緒に祭りを盛り上げるので、毎年祭りの時期は同窓会のように楽しい。

④青年団での今後の展望はなにか  
泉佐野市青年団協議会の力は人数の力。昔のようにだんじりをやりたい人だけが集まる青年団が今は減ってきている。自分たちで面白いことや地域貢献活動をやりたいかなと、保護者が「青年団は子どもにも悪影響を与える」と思い込み、子どもの参加を認めず、青年団の人数も増えない。地域のいろいろな人にまんべんなく好まれるよう、各町のゴミの片づけや農業体験活動等を通じて、子どもたちの憧れの存在である各町の青年団員を増やしてい



【大阪】里山保全活動体験。赤いジャンパーの団員はリーダーとして子どもを誘導。

人数も増えない。地域のいろいろな人にまんべんなく好まれるよう、各町のゴミの片づけや農業体験活動等を通じて、子どもたちの憧れの存在である各町の青年団員を増やしてい

## 北方領土の早期返還をめざして

「四島(しま)の未来 心かよわせ 返還へ」

2月7日は北方領土の日です



北方領土返還要求のシンボルマークです

独立行政法人 北方領土問題対策協会

〒110-0014 東京都台東区北上野1-9-12住友不動産上野ビル9F

電話 03-3843-3630 FAX 03-3843-3631

URL <http://www.hoppou.go.jp>



きたい。

【プロフィール】

中野 弘祥（なかの・ひろよし）（32）泉佐野市青年団協議会会長。泉佐野市下瓦屋地区出身。

◆綾川町青年会（香川県綾川町）

①なぜ入会を決めたのか

中学1年生のとき、母校の小学校でサマーキャンプのスタッフを募集していて、当時の会長に「手伝ってくれないか」と声をかけられたのがきっかけ。

②ターニングポイントは何か

初めて手伝ったサマーキャンプのときから一部のプログラムの企画を任されて、大きなやりがいを感じた。最初は「無茶振りだな」と感じた部分もあるが、やってみたら楽しくて、活動を始めて今年で8年目となる。

③活動の魅力はなにか

小学生対象のキャンプを実施していて、参加した子どもたちと運営側の青年会員の主体性を尊重して活動している。安全管理

まとめ

後継者不足は、青年団に限らず多くの組織の悩みであり、少子化の中で今後さらに大きくなる課題といえる。その中で、南陽青年団や綾川町青年会、泉佐野市青年団協議会のように、青年団に魅力を感じて入団してくる青年たちもいる。また、私の住む珠洲市でも、各地区団に毎年入団する青年たちがいる。その要因として共通している点は、実際に活動に参加したり、活動を知っていたり青年団がどのような目的で、どのような活動を行っているのかが地域の人たちに見えているということだ。そこで情報を発信することがとても重要になってくるが、単に青年団の活動や青年団を理解してもらうための情報共有型の発信ではなく、共感してもらえるような情報を発信していくことが大切だと思う。キーワードは「青年団の見える化」と「共有から共感へ」である。そのためにも、自分たちが行っている青年団活動に自信と誇りを持ち、楽しみながら活動を行ってほしい。それが新たな仲間を増やしていく最も大切なことだ。青年団活動の輪が、全国各地で広がることを期待する。



【プロフィール】

時兼 秀充（ときかね・ひでみつ）  
珠洲市立緑丘中学校校長。  
若山青年団団長、珠洲市青年団協議会会長、石川県青年団協議会会長を経て、2001～2003年に日本青年団協議会副会長。以来、全国青年問題研究集会の助言者を務める。

【プロフィール】

大林 千明（おおはやし・ちあき）（21）（写真一番右）綾川町青年会会長。綾川町出身。

活動を通じて地域の子どもたちや町を元気にしていきたい。



【香川】大人のサマーキャンプで親睦を深める

④青年会での今後の展望はなにか

子どもキャンプに参加した子どもがその後青年会員になることも多い。子どもたちに「あのときのお姉さん（お兄さん）に憧れて」と思ってもらえるよう、育ててもらった先輩方のように、自信と責任をもった背中を子どもたちに見せていきたい。

のうえ、キャンプで子どもたちに食べるものから寝る時間まで考えてもらっている。そしてスタッフである青年会員も自分たちの頭で考え、自由に柔軟な発想で取り組むのが魅力。楽しいからこそ活動を続けているが、それだけでなく子どもたちと一緒に学び、学び、ともに成長する場となっている。

あの日・あの時・あの場所で

全国の青年団の活動をクイズでご紹介！青年団ならではの活動やそのエピソードを、写真とともにお届けします。是非みなさんの活動の参考にしてください！

※答えは右記のQRコード（日本青年団協議会 Facebook）から→



北海道の長沼町青年団体協議会では、節分の時期に小学生を対象に「冬のついで」を開催しています。恵方巻きを手作りし、皆で食べながらおはじきや駒まわし、カルタなど昔遊びをして遊びます。じつは、このイベントには子供が遊ぶということの他にも目的があります。さて、一体それはなんのでしょうか？

ヒントは、「昔遊びはその道のプロに教えて貰いたい」です！（北海道 北海道青年団体協議会より出題）



青年団の活動の拠点として、全国各地に青年会館などがあります。ここ香川県にも香川県青年センターがあり、平成24年の改築再オープン時には県の青年会が指定管理者（現在青年団OB・OGが中心の法人）になるなど全国に先駆けた特色があります。実はこのセンターは、駅からの距離の近さも他の施設に負けていません。はたして、最寄りの駅からセンターまでの距離は何mでしょうか？

（香川県 香川県連合青年会より出題）

# 「楽しさ」を超える、 私がやりたいこと



(写真右) NPO 法人日本アマチュア演劇連盟事務局長 伊緒里 優子 氏  
いおり・ゆうこ。福岡県遠賀郡岡垣町出身。劇団 SAKURA 前戦を旗揚げし、殺陣を中心に現代演劇の最前線に立ち、海外公演も多数。現在 NPO 法人日本アマチュア演劇連盟事務局長。2018 年度から全国青年大会運営委員及び舞台発表の部の審査員。  
(写真中) 日本青年団協議会副会長 藤原 麻美  
ふじわら・あさみ。滋賀県高島市在住。地元で仲間と共に演劇に取り組み、青年団に出会う。現在、日本青年団協議会副会長。  
(写真左) 日本青年団協議会会長 中園 謙二  
1980年6月16日生まれ。岡山県倉敷市在住。2008年に岡山県青年団協議会へ入会し、2年後に同会会長就任。2015年に日本青年団協議会役員を経て、2020年より同会会長。

「楽しさ」を越える、私がやりたいこと。演劇を始めたての中学生からこそ誰でも取り組みやすいんです。例えば、

に勝ち負けは無く、だからこそ誰でも取り組みやすいんです。例えば、演劇を始めたての中学生からこそ誰でも取り組みやすいんです。例えば、

道に乗って、福岡で1、

「私がやりたいこと」をやろう

生きてきて良

「私がやりたいこと」をやろう

生きてきて良

社会の最前線で活躍する方と語り、あらゆる角度から地域を見つめる本企画。今回は、全国青年大会舞台発表の部の運営委員を務める伊緒里優子氏と対談する。伊緒里氏は、地域の草の根から始まる芸能文化活動をどう見ているのか。そして青年団のこれからの活動とは。

今回は、地元の青年団で演劇活動を行ってきた日本青年団協議会副会長の藤原麻美もオンラインで同席した。

## 「楽しさ」の その先へ

(中園) 実践者としての立場から、青年団の芸能文化活動に対する印象を伺います。

(伊緒里) 2種類の団体があると感じます。まず、自分たちが楽しんだり仲間と楽しくやることを第一とする、比較的新しいグループです。2つ目は

代々取り組みを続けてきた団体。最初は自分たちが楽しもうと始めたのか

もしれないけれど、そのうちに地域のの人に楽しんでもらおうと意識が出てきて、そのために色々工夫し洗練されてきま

す。動機として楽しむことは必要ですが、一歩先に進むと地域の人のことを意識し始める。楽しさ

の次のステップに「登場人物の気持ちはどうだろう」「観客からどう見えるかな」というのがあり

ます。先ほどの2つの団体の方向性はどちらも正しく、その意味では芸術

に勝ち負けは無く、だからこそ誰でも取り組みやすいんです。例えば、

演劇を始めたての中学生からこそ誰でも取り組みやすいんです。例えば、

道に乗って、福岡で1、

「私がやりたいこと」をやろう

生きてきて良

「私がやりたいこと」をやろう

にとつて「〇〇じゃなければいけない」決まりはありませぬ。中高の演劇部と青年団が一緒に演劇の上演に挑戦して楽しんでみて、学校を卒業したら青年団へ、というのも芸能文化を通じた仲間づくりの一つの方法だと思いますよ。

## 認められることが 原動力に

(中園) 演劇のように、正解が無いことに向き合うことが社会教育に通じますね。向き合うための

原動力は何でしょう。

(伊緒里) 例えば、けん玉ができるだけでも周りから一目置かれます。誰

か一人でも喜んだり驚いたりするものに価値があるし、前向きになれるんだと思います。

(中園) それでも活動を続けるうち楽しさや初心を忘れてしまう、という

ことは青年団運動にも重なります。演劇の世界で初心を忘れてしまったら、

どう復活するのですか。

(伊緒里) 私たちもそこに陥りました。団体が軌道に乗って、福岡で1、

「私がやりたいこと」をやろう

生きてきて良

2を争う集客を始めたから、だんだん何のための劇団か分からなくなつて。ある中学校で先生から「演劇部の生徒たちに楽しさを教えてほしい」とお願いされ、ハツとしたんです。指導初日に大きな声が出なかった生徒が、翌日声が出るようになりまして。ここでは声を出していいんだよ！と褒めたら、その子が思わず泣きだして。自分が認められたと思いたいんです。芸術を通じて自分で成長したい、何かできるようにになりたいという喜びがまずあるんだ、と

初心に立ち返りました。

(藤原) その通りです。私も地域で演劇をしていて、ある青年団員がハドルを乗り越えた時に一緒に喜べるという体験があつて、そこからハマつていきました。一人ができるまでみんなが寄り添うところ。青年団で文化活動を通じて、人を大事にするところを学んでほしいですね。

か。

(伊緒里) 私たちもそこに陥りました。団体が軌道に乗って、福岡で1、

「私がやりたいこと」をやろう

生きてきて良

「私がやりたいこと」をやろう

生きてきて良

「私がやりたいこと」をやろう

生きてきて良

「私がやりたいこと」をやろう

か、と言えることが一つあればだんだん楽しくなつてきます。最初に「地域貢献しよう」ではなく、集まったメンバーがやっていることが結果的に地域のためになっていけばいいんじゃないですか。今は漠然としたもので集まってくる時代ではありませぬ。私がこれをやりたいから、これをやるんだといって人を集める。誰かがやったことを踏襲するのではなくて、誰かのやりたいことが本当に楽しいことだったら、「私もやってみたい」と都市でも地方でも人は集まってきました。それを全国青年大会にもつてきてくれれば(笑)

(中園) 本当ですね。今日はありがとうございました。

(紙面でのご紹介はここまで。伊緒里さんと中園会長の対談の続きは日青協FB等で紹介します。左記QRコードをチェックしてみてください)

か。

(伊緒里) 私たちもそこに陥りました。団体が軌道に乗って、福岡で1、

「私がやりたいこと」をやろう

生きてきて良

「私がやりたいこと」をやろう

生きてきて良

「私がやりたいこと」をやろう

生きてきて良

「私がやりたいこと」をやろう



つづきは↑こちら

天然ガスがひらく未来



天然ガスは、クリーン性に優れた環境負荷の少ないエネルギーです。

天然ガスはメタンを主成分とし、不純物を含まないクリーンなエネルギーです。大気汚染や酸性雨、地球温暖化の原因ともいわれる窒素酸化物(NOx)や二酸化炭素(CO2)の排出量も少なく、環境保全に貢献する、地球にやさしいエネルギーです。

<http://www.tokyo-gas.co.jp/>



## 第66回全国青年問題研究集会

～This is my distance ♪～

### の開催について

オンラインでつながる輪



たものの、参加者数が昨年度よりも増えた。その理由として、コロナ禍だからこその語り合いや、つながりを

は前向きな声があがった。一人の悩みに対し、他の参加者が正面から向きあい語る、青年団が得意とする共同学習の意義を感じる一方、オンラインによる疲労感や会話の間合いなどの課題も残った。

共に語り、学び合う全国青研。当初オンラインの手法や、1日開催となったことでの懐疑的な部分があったが杞憂に終わった。オンライン開催であっても、対面の開催と同じように生活課題を深堀り、仲間の声に耳を傾けたりする実践は変わらない。対面開催ではないからこそ、これまで以上に青年団の本質的なところ、大事にしたいことが浮かび上がった。相手と真剣に向き合うことはエネルギーを要し、日頃の生活の中で置き去りにしていることもあるかもしれない。それでも、自身と向き合い、他者と向き合い、語り合うことは自身の節目や成長を実感する機会となる。この全国青研を経て、次年度の活動に弾みをつけた仲間たち、後輩たちの姿は頼もしい。日青協ではこのオンラインの取組みの成果を次年度に引継ぎ、新たな実践を積み上げていく。

(文責：日本青年団協議会)

常任理事 大崎 博士)

求める青年たちの想い、オンラインだからこそ参加しやすいとの声があったことがあげられる。

実践報告では、2020年度全国地域青年「実践大賞」受賞団体からもりやま青年団(滋賀県)、安城市青年団協議会(愛知県)から報告をいただいた。

「地域に元気を届けたい」「自粛と何もしないこととは違う」と、コロナ禍の中で集まることを諦めずできること、やりたいことを団員と共に考え、試行錯誤し実践した報告があった。参加者からは「自分たちもやってみたい」など多くの感想が寄せられた。

分科会では、オンラインであっても参加者同士がお互いの言葉を補ったり、フォローしたりと対面形式と変わらない場面がいくつもあった。「地元に戻って仲間に日ごろから思いを伝えたい」「できない理由を並べるのではなく、まずはやってみる」など、最後に

2021年3月7日、日本青年団協議会は第66回全国青年問題研究集会(以下、全国青研)を開催した。当初、対面での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、全国青研史で初となるオンライン開催に踏み切った。青年団では戦後直後より膝をつきあわせて語り合う文化を大事に活動してきた。しかし、直接集うことが難しくなった今日、物理的な距離だけでなく他者と自分、組織と自分といった、一人ひとりが持つ様々な「つながり」との距離感を見つめ直し、つながりの中での自身の考えを導き出すことを目的に、「This is my distance ♪」をテーマとして開催した。「地域活動について」「生活課題について」「教宣活動について」の3部門10分科会に分かれ、全国から44名の方に参加いただいた。例年に比べ、道府県の青年問題研究集会の開催地域が少なかっ

月刊

# 社会教育

毎月17日発売!

創刊1957年。実践家と研究者による市民のための社会教育総合誌。公共施設や教育施設における社会教育はいまどうあるべきか。毎号幅広いテーマで社会教育の在り方を見つめます。

定価：本体741円+税



旬報社 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544 中川ビル4F  
TEL03-5579-8973 FAX03-5579-8975 <http://www.junposha.com/>



## 日本青年館ホール

私たちは1921年以来、一貫して日本の社会教育、全国の青年団を応援しています。

お問合せ：株式会社ニッセイまで「日本青年館ホール」で検索!



古代ギリシアの哲学者であるアリストテレスの言葉のうち、人間の生き方について語った有名な言葉に「人間は社会的動物である」がある。この言葉は「より善く生きようことをめざしている人間同士の共同体が、人間の完成に必要な」ということを示す。確かにその通りだ。私たちは生まれた時から、生涯を終えるまでたえず社会や他者と交わりながら生きている。まさにゆりかごから墓場まで。当時と今では環境も文化も何かもと呼べるほど変わったが、人との関わりを持ちながら生きていくことはいつの時代も普遍的なものだ。

東日本大震災から10年、新型コロナウイルス感染症の確認から1年以上が経過し、個人に対して自らの生活を問われる機会が増えてきた。先生や親などが決めてくれた幼少期や青少年期と違い、青年期になると「自

分で決める」という機会が強制的に与えられ、決めたことへの責任もまた要求される。果たしてそれで良いのだろうか。本人が自由に決めることができる社会自体は大変評価できる一方で、自分中心の視野で社会を見ることにより、物事を自分軸で判断することが正しいと感じる錯覚に陥る。そしてコミュニケーションによるすれ違いは増え、様々なトラブルは後を絶たない。

生きることは、決断の連続だ。一人ひとりの選択の結果が今の世の中を形成している。だからこそ、誰一人として欠けてはならない大切な存在なのだ。新年度のスタートに際して、「私がやる」から「私もやる」へ。

新しい自分に自ら問いかけてみよう。

コロナに負けず、チャレンジ精神を大切に！



職場の先輩から「青年の集いに参加しないか？」と声を掛けられ、第65回滋賀県青年大会実行委員会に入った安原さん。参加するうちに「よかったですら夏祭りも手伝ってくれへん？」と言われ、前日準備から参加。たくさんの方が集まった夏祭りは多くの笑顔に溢れ、「楽しいなあ」と感じた。一番印象深いのが、足の不自由なおじいさんが、キレのある盆踊りを楽しそうに踊っていたこと。様々な方が集い、楽しめる夏祭りをつくり上げる青年のパワーを実感し、もっといろいろなやってみたいと感じた。その後、新旭町の青年団であるチャレンジクラブに友達と入団した。

1年後、高島市青年協議会の理事に誘われ、チャレンジクラブと併せて活動。令和2年度には高島市青年協議会の会長に就任。翌年からは、併せてチャレンジクラブの代表にも就任する。安原さんは「原点復帰。チャレンジクラブという名の下、好奇心を大事にして自分たちのやりたいことを実現させていきたい」と明るく意気込む。また、「同じように頑張っている青年団とともに滋賀県、高島市を盛り上げていきたい」と語る。周りを笑顔にする、パワフルな安原さんのこれからの活躍が楽しみだ。

●滋賀県青年団体連合会  
村田康恵支局員より投稿



好奇心も大事に、  
楽しむ  
安原 翼さん(29)  
(滋賀県)  
高島市青年協議会会長

編集後記

3・11から10年が経った。当時、被災地を撮影するカメラマンに対し、不謹慎との声が上がった。声には出さずとも、実は自分もそう思っていた一人だったりする。  
写真や動画というのは、良くも悪くもあるままをそのままの形で記録し、映す。10年の節目を迎えた今、それらを改めて観直してみると、当時を風化させないためにも、美化させないためにもこのような記録の必要性を感じた。(丹)



最新の情報はこちらに  
<https://dan.or.jp>

事業案内

**第67回静岡県青年祭 (予定)**  
 主催：静岡県青年団連絡協議会  
 日程：7月下旬～9月上旬  
 会場：神明ボウル、静岡市北部体育館、静岡市南部体育館など  
 県下青年が集い各種目の日頃の成果を発揮し、上位チーム、団体は全国青年大会の出場権を獲得できます。参加者の多い種目ではコロナ禍でも万全の対策をしながらも50人近くの選手が集まりました。今年度もコロナ対策を徹底し、多くの県下青年が交流する大会にしていきたいです。  
 ※日程・会場は各種目により異なります。

**みすみフォトウォーキング (予定)**  
 主催：長門市三隅青年団  
 日程：7月中旬 10:00～15:00  
 会場：三隅公民館  
 山口県長門市三隅の自然、歴史や芸術に触れながら、映える写真を撮りましょう。SNSを活用したコンテストも同時開催予定！  
 ※参加人数は10名まで。※予定が変更になる可能性があります。  
**参加者募集中！** お問い合わせは日青協事務局まで